

発行所 〒102-0083
 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
 公益社団法人日本海洋少年団連盟
 電話 03(5213)4778
 (年6回奇数月の1日)
 購読料 1部10円(送料実費)
 会員会費には購読料が含まれる
 振替東京 5-13846番

海洋少年団通信

Japan Sea Cadet Federation



ちかい

1. 海のような広い心で団結し すべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い 立派な海の子になります。

国際海洋少年団協会年次総会報告

10月10日から14日まで、南アフリカのケープタウンで国際海洋少年団協会(ISCJA)年次総会が開催され、橋川国際委員長と日本連盟小宮山総務部長が出席しました。



まだコロナの影響があるのか、参加国は開催国の南アフリカ、アメリカ、オーストラリア、バミューダ、バルバドス、韓国、ドイツ、ケイマン諸島の代表、そして日本の9カ国でした。

23時間のフライト後、時差ぼけと睡眠不足の中、さっそく午後から会議がありました。各国自己紹介の後、ISCJA加盟希望のケイマン諸島のプレゼンテーション後、審議に入り、全会一致で二年後の入会が承認されました。また、暫く国際交流活動や本会議に参加していない国や新規加入

の可能性のある国へ近隣諸国からアプローチすることが確認されました。会議の二日目は各国のプレゼンテーションでしたが、例年なら交流活動の様子が発表されるのですが、コロナの影響で活動の発表は韓国のみで発表しました。韓国の交流には日本も参加したのでお礼を言われました。

日本のプレゼンテーションは、2020年以降昨年まで交流に団員を派遣していないので、日本海洋少年団の概要や来年度の日本交流についてパワーポイントで説明をしました。特に訓練内容では、日本語や手旗送受信に

触れ、手旗信号にはカタカナを用いることの説明の後、実際に議長や私の名前を描き好評

を得ました。他の国々でもアルファベットを用いた手旗訓練を行っているので、興味深く見入っていました。最終日は国際交流に関する参加人数や年齢について質疑応答がありました。

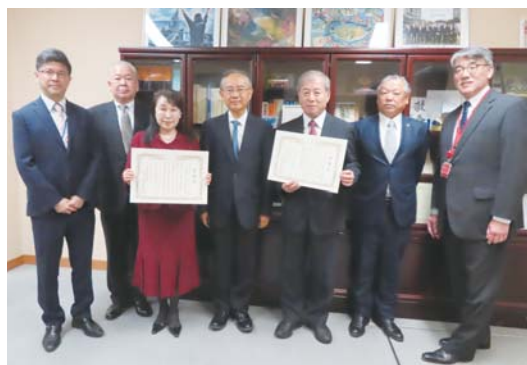
2020年以降、国際会議の担当者、特に書記が変わったのでアメリカ代表の書記から細かい部分まで質問があり、運営上の問題に

多長時間が費やされました。しかし久しぶりに各国が顔と顔を合わせ、会議を行えたことは、お互いを知る上で大変有意義でした。来年、カナダのオタワでの再会を約束して閉会しました。(国際委員会委員長兼事務局長・南勢団团长 橋川 玄)

国土交通省海事局長から感謝状

50年余り行ってきた絵画コンクール「我ら海の子展」について、海の功績が認められ、10月11日、国土交通省海事局長室において、海谷厚志海事局長から共催のサークルクラブ協会と日本連盟に対してそれぞれに感謝状が授与されました。

「我ら海の子展」は、子ども達の海への憧れとロマンを育み、創造力を発揮する機会として昭和48年(1973年)にはじまり、今年で第51回となりました。国土交通大臣賞をはじめ



とした各賞を決定し、全国各地で受賞作品展を開催しています。当連盟としては、今後もより多くの子ども達に海への関心を深めてもらうために、サークルクラブ協会と協力してこの事業を続け、海事思想の普及に努めてまいります。

第56回日本海洋少年団全国大会 地域開催検討委員会の設置について

日本海洋少年団全国大会の在り方については、実務委員(メンバー)による検討会で協議を重ね、「全国大会を2年にかけて行う分離分散型の大会」とすることが決定しました。次回の第56回全国大会は、令和6年の1年目に連盟主催の「式典の部」を東京で行い、令和7年の2年目に連盟と複数地域との共催での「競技の部」を開催します。

- そこで当連盟では、令和6年に開催する「式典の部」について準備をはじめたところですが、さらに、令和7年に予定の「競技の部」の開催についても認定条件を定め、競技実施要綱等を見直していくために、会長が指名した実務者の有志で構成された地域開催検討委員会を設置しました。
- 当連盟理事 榎藤 正信
 - 東北地区連盟会長 藤田 光信
 - 浮木 隆
 - 愛知県連盟会長 島田 明美
 - 千葉北部団团长 千原 敬一

2023年度国際交流派遣事業報告

日本連盟では、国際交流の派遣事業と招聘事業を毎年交互に行っています。コロナ感染



症の流行が落ち着いた今年度は、韓国と香港からの招待を受け、指導者及び団員を派遣しました。

〔韓国交流〕

7月30日～8月6日までの8日間、日本から

日本の団員は勉強してきた韓国語ですぐに打ち解けたため、常に輪の中心にいたことに引率した指導者も感心しました。

また今回の参加国は、母国語が英語の国が多かったため、お互いゆっくりとした英会話でス

〔香港交流〕

8月13日～8月20日までの8日間、日本から4名と、オーストラリア10名、シンガポール14名が参加しました。海上警察等の訪問、沿岸防衛博物館、歴史博物館の見学、ドラゴンボート体験等を行いました。

施設見学や食事には常に香港の団員がサポート

新潟県知事を表敬訪問

日本連盟は、9月20日、当連盟の榎野副会長と新潟団の田巻照指導者、田巻八重子指導者他1名で、新潟県の花角知事を表敬訪問した。

コロナ禍前、新潟団は、県の行事へもいろいろ参加していたとのこと。最近やっと通常の海洋少年団活動ができるようになったことなどを報告した。

今月の主な記事

- 2面 韓国国際交流感想文、2023年地区大会(関東・中部)
- 2面～3面 各団活動報告
- 3面 みどりの広場、4コママンガ、連盟だより
- 4面 我ら海の子展特集

知事、教育長へは、引き続き支援をお願いして県庁を後にした。花角知事は、海上保安庁次長を退官後、新潟団として、新入団員の募集案内の配布などでの協力を県に求めたいことを期待するとともに、同地区に新たな団を創設するべく取り組んでいく方針だ。

「国際交流に参加して」

目白台団 高等2級 近藤 和心

韓国に1週間海外交流として行って、すごく感じたことが2つあります。

一つ目は会話です。韓国ドラマで勉強し、少し理解できる状態で行きましたが、実際は聞き取ることができません。

同じ部屋の香港団の団員ともうまく話せませんでした。ですが、ジュスチャーや翻訳機を使ってすごく仲良くなりました。

二つ目は優しさです。飛行機で機内食が出た時、隣の方がお菓子をくれたり、コンビニで買い方がよくわから

に感謝です。

フェスティバルに参加する前、ロビーで他の韓国団の団員が写真撮らうと声をかけてくれたり、フェスティバルに参加した後は、同じ階に泊まった韓国の子たちが話しかけてくれました。海外交流に参加して、メン

バー以外とも仲良くなれると思ってなかったのですが、すごく嬉しかったです!!

今でも連絡を取り合う友達になりました。私は、今回の海外交流を通して、もっと英語や韓国語を勉強して、もう一度、香港団と韓国団の子達、スタッフさんたちに会いたいな

と思いました。一生忘れない思い出になりました。本当にありがとうございました。

は無意味・有意味、初等級団員は原画の個人受信と送受信の競技を行いました。

また夜には、各団混合で班を作り、出店形式に開かれたブースでの当てる輪投げなどのゲームを楽しみ交流を深めました。

2023年度地区大会

関東地区大会 訓練の成果を発揮

代々木にあるオリピックセンターにて9月9日・10日の2日間の日程で第25回関東地区大会が開催され、横浜団・船橋団・清水団・



千葉市連盟(千葉新宿団・千葉北部団)の団員たちが普段の訓練の成果を競い合いました。1日目に開会式と手旗競技として上級団員

閉じました。普段の訓練の成果を発揮できた団員も、悔しい思いをした団員もいたかと思いますが、2日間お疲れさまでした。

韓国国際交流 参加者感想文



「国際交流に参加して」

南勢団 高等2級 角 明日華

私が国際交流に参加したのは、団長、副団長、リーダーが背中を押してくれたからです。

団長からは、これまでの国際交流に関する話を聞かせてもらい不安が減りました。副団長は、「若い時に色々経験させてやって!」

と、母に話してくれました。国際交流に参加したことのあるリーダーからは、日本ではできない体験をして成長できる、ということを感じさせてもらいました。

さて韓国では、韓国団と香港団、日本団の私たちが、指導者、通訳の方などと共同生活を送りながら交流を深め

ました。また、ヨスのイベントに日本海洋少年団として参加しました。各国の団が、各々の制服を着て出席しました。

中部地区大会 色々な海の体験も

9月23日・24日の2日間、約5年ぶりに第22回中部地区大会を福井県敦賀市において開催しました。

今回の大会は、地域性を考慮して主管団と行った形はとらず、実行委員会体制で初めて開催し、福井・愛知・三重の3県(小浜、敦



賀、三国、中日、豊橋、四日市、南勢)7団109名が参加しました。場所は、地理的な問題もあり、2箇所に分散して行いました。

1箇所目は敦賀の東浦海岸においてカヌー、サップ体験を、もう一箇所は、少し目先を変えて、今回初めてスキ

ンダイビング、体験ダイビングを越前海岸の米ノ浦ダイビングスポットでインストラクターを迎え、36名が2日に分かれて行いました。宿泊は、敦賀市立少年自然の家で、開会式及び手旗競技(A・B)、ロープワーク競技を行いました。各団から多数参加して寝食を共にして交流を深めました。今回の大会において、団員達もほかの団の団員との交流や競技をすることに大きな刺激と感動があったと思います。

今大会は、ひとつの転換期の大会であったと思います。(中部地区連盟会長 林 正次)

酒田団

☆合同合宿☆

10月7日・8日、千葉県船橋市にある三代目の南極観測船「SHIRASE 5002」において、酒田団、新潟団、横須賀団、藤沢団が1泊2日の合同合宿を行いました。

それぞれの海洋少年団は所属の地区連盟が違いますが、今回、酒田団が計画し、普段交流の少ない団との交流会を実現しました。

初日は、「しらせ」の甲板で記念撮影をした後、開会式を行いました。開会式では、鈴木酒田団長の挨拶に引き続き、観測船の担当者から南極観測船「しらせ」の説明を聞きました。

また当日来賓として招かれた元艦長の大鋸様から、当時の航海の様子やどんな人が乗船しているのか、どんな観測をするのかなどの話しに、団員たちは聞き入り、その後の船内見学はとても興味深いものになりました。夕方からは、ロープワークや酒田団が準備してきた山形名物の芋煮やBBQ、焼きマシユマロなどを頂き楽しい交流会を過ごしました。



杉並団

☆合宿訓練(海上訓練)☆

杉並団では、9月16日・18日にかけて猛烈な残暑の中、土浦市ラクスマリナーにおいて、

総勢14名で合宿訓練を開催しました。今回の合宿では、①キャンプ技術の向上、②カッター、ヨットの操作技術の向上、③他団との交流を目的として計画されました。



また、海上訓練においては、商船大学OBの方々の指導によりカッターの帆走技術を学び、ディンギー・ハンザ乗船では上手にセイルで風を受けとめ、一人前のヨットマンに成長しました。そして、霞ヶ

浦団との交流会では、新しい仲間と出会うことが出来ました。合宿を終え、これからも安全・安心を心掛けながら、団員へ楽しい思い出を残してあげたいと思うとともに、全国大会の開催も難しくなる状況のなか、何かしら他団との交流の場を増やすことが必要ではないかと考えた2泊3日でした。最後にありますが、今回の合宿訓練にご尽力、ご協力頂いたラクスマリナー関係者の皆様にお礼申し上げます。(杉並団副団長 木村 昌充)

船橋団

☆ハゼ釣り☆

かつて、「ハゼが湧いて出る」といわれた江戸前の海。我々も9月24日、ハゼ釣りに行ってきました。

モーターボートでカッ



ターを曳航し、江戸川下流域まで遠征です。小学4年生以下の団員にとっては、はじめての江戸川遠征となりました。

大漁と言うほどの釣果は上がりませんでした。が、皆と一緒に釣れば、目が釣れても、草の切れ端が引っかかっても、カニの甲羅がっり上がっても盛り上がるのができ、楽しいものです。

年少団員には、お土産にハゼを渡しました。お家に帰って、きつと美味しく食べることができたでしょう。

舞鶴団

☆海上自衛隊オートムフェスタ☆

9月2日土曜日、舞鶴海上自衛隊が「オートムフェスタ」のイベントを開催して、自衛



隊の施設を一般開放しました。艦艇の見学や乗船体験等もありました。

舞鶴団もこのイベントに参加して、特設ステージで手旗の実演を行いました。

実際に、50m離れた護衛艦「ひゅうが」と手旗で信号のやりとりを行い、本来の手旗の意義を団員は実感することができました。

また、団員がロープワーク教室を開いて、見学に訪れた子どもたちにロープワークを手ほどきするなど、充実した体験ができました。

高知団

☆海洋レジャースポーツ訓練☆

高知団は、7月16日



月10日ヨット訓練を実施しました。

毎年、シーカヤック・ヨット訓練は実施してきましたが、今年度からスタンドアップパドルボート(サップ)を

ルボート(サップ)を項目に入れました。カヤック、サップ訓練では、まず指導員から座り方、パドルの漕ぎ方、ヨットでは各部名称、役割、ロープワーク、注意事項などの説明を受けた後、沖合に漕ぎ出しました。サップでは小学4年生以上は単独で、小学3年生以下は保護者と一緒に乗艇

みどりの広場

「はじめてのはんごうすいさん」

目白台団 さとう りく

今日は、海洋少年団のハイキングで、あかばねせんかんさつ公園に行きました。

そこで、ごはんを作りました。

メニューは、ごはん・とんじる・シャケのホイリヤキを作りました。

「ためになった研修会」

福岡団 池田 秀登

私は、9月16日から9月18日にかけて行われたジュニアリーダー研修会で皆さんのことを学んだ。研修会がはじめて間もないころは、少しきんちょうしたが、他の団員たちが優しく接してくれたため、楽しい研修会にすることができた。

近畿地区連盟

☆カヌー・カヤック合同行事☆

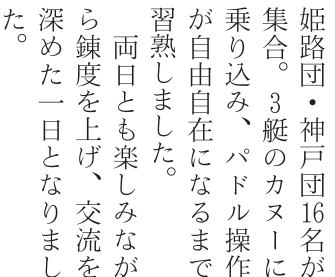


近畿地区連盟では、これからの新団員獲得に向けてシーレジャーの機会を増やすため、また地区大会に参加できない団員の補完行事としてカヌー・カヤックの合同行事を開催しました。

8月13日、姫路団・大阪みなと団11名が姫路港に集合し、兵庫県立いししま自然体験センターに向けて出港。現地ではカヌー・カ

九州北部地区連盟

☆返事は元氣よく「はいっ!」☆

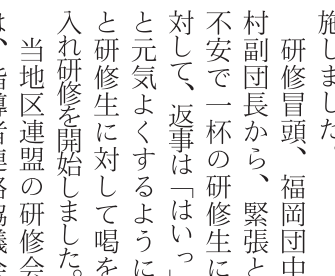


9月10日には姫路市木場ヨットハーバーに姫路団・神戸団16名が集合。3艇のカヌーに乗り込み、パドル操作が自由自在になるまで習熟しました。

両日とも楽しみながら錬度を上げ、交流を深めた一日となりました。

九州北部地区連盟

☆返事は元氣よく「はいっ!」☆



9月16日から2泊3日、北九州市の施設にて九州北部地区連盟第46回ジュニアリーダー研修会(参加者団員11名、指導者14名)を実施しました。

研修冒頭、福岡団中村副団長から、緊張と不安で一杯の研修生に対して、返事は「はいっ」と元氣よくするようにと研修生に対して喝を入れ研修を開始しました。

当地区連盟の研修会は、指導者連絡協議会

が主体となり、教育級等の後輩にわかりやすく基本動作、手旗、ロープワークを指導するかわり、指導者が知恵を絞らな研修を実施しています。

実際に課題を与え、発表をさせると日頃の訓練では見せない一面を垣間見ることができました。指導者も笑いをこらえることが出来なくなりました。また、胸骨圧迫やAEDを用いた実践に即した救急法なども行いました。

今回は、若松海上保安部の協力を得て、海

上保安業務の説明、安全講習や救命胴衣の着用方法の実演を実施していただき、参加者一同、改めて海の危険や基本の徹底を実感させられました。

厳しい場面もありましたが、最後には全員が笑顔で終了証を受領することが出来ました。

今回の研修では、団長・副団長も率先して指導に加わり、絆の強さをより一層感じました。

(指導者連絡協議会副会長兼指導部長・洞海副団長 溝上信彦)

6年8月3日(土)に決定しました。場所は、東京都千代田区永田町

の海運ビル2階ホールで午後2時からとなります。

また、この式典の日

程に合わせて、国際交流事業の一環として、海外団の招聘も計画

うみた ひろみ VOL.165
海太と洋美 作・ちばへーた

スウェーテントーチ



連盟だより

1 第56回全国大会「式典の部」開催日決定について

来年度開催される第56回日本海洋少年団全国大会「式典の部」について、開催日が令和

6年8月3日(土)に決定しました。場所は、東京都千代田区永田町

の海運ビル2階ホールで午後2時からとなります。

2 絵画コンクール「我ら海の子」事業に感謝状

1面に掲載して

ますが、このたび、国土交通省海事局長から感謝状が授与されました。

今後も子ども達への

海への関心を深めるためにこの事業を継続してまいります。

なお、この絵画コン

クールの入選者は、東京

での表彰式に招待される特典もあるので、来年度もまた多くの団員からの作品の応募をお待ちしています。

第 51 回絵画コンクール

我ら海の子展

受賞作品

☆今後の展示会予定☆

- ① 11月11日(土)～12月10日(日) アクアマリンふくしま(福島県)
- ② 12月22日(金)～1月21日(日) 琴平海洋博物館(香川県)

国土交通大臣賞 中学生の部

国土交通大臣 齊藤 鉄夫

光がとても印象的に描かれており、未来への希望のような明るさを感じる作品となっています。水平線が少し斜めに描かれているところから臨場感も伝わってきます。船の上から一生懸命手旗を振っている描写が、「とどけ!」というタイトルの通り、力強く伝わってきます。

「とどけ!」
高橋 莉久斗(中1)



国土交通大臣賞 小学生高学年の部

国土交通大臣 齊藤 鉄夫

様々な生き物が海の中で共生している姿がよく表現されており、科学的な視点からも描かれているのだと感じました。光に驚いたウツボの表情と、ウツボを見つけた瞬間の人間の表情が、どちらも魅力的に描かれていると思います。

「えつまぶしいよお〜!ただいまお口のおそうじ中〜!」
高橋 希羽(小4)



国土交通大臣賞 小学生低学年以下の部

国土交通大臣 齊藤 鉄夫

まるで自分が海の中にいるかのような、面白さを感じました。魚たちが発している泡によって起きる、フクフクという音も本当に聞こえてくるようです。とても賑やかで楽しい作品になっていると思います。

「色彩豊かな海と魚たちの、光と音のハーモニー」
織田 将隆(小3)



日本海洋少年団連盟会長賞

公益社団法人日本海洋少年団連盟 会長 村上 英三

非常に元気の良いトビウオから、元気や楽しさがよく伝わってきます。そこに海の良さが表されていると感じました。

「保安船に驚くトビウオの群れ」
星野 碧人(中2)



サークルクラブ協会理事長賞

一般財団法人サークルクラブ協会 理事長 鈴木 雅子

帽子をかぶったタコさんと、楽しくカラフルな色んな魚たちが描かれています。絵の中にリズムがあり、わくわくするような気持ちをもたらされる絵だと感じました。

「素敵なお魚たちと愉快な仲間たち」
池原 瑠希斗(小4)



日本船主協会会長賞

一般社団法人日本船主協会 会長 明珍 幸一

とにかく元気な印象を受ける船です。魚を獲るにせよ物を運ぶにせよ、元気な船は素晴らしいです。カモメの生き生きとした様子や綺麗な海も描かれていて、全体的に力強さを感じました。



「おおきなマグロをつりにいこう!」
三原 慶悟(小2)

近藤記念海事財団理事長賞

一般財団法人近藤記念海事財団 理事長 兼坂 政樹

女性の目が良い。どこを見ているのか、何を見ているのか。鋭い視線の先に何があるのか、色々想像を膨らませてもらえる作品です。



「漁師の一日」
川野 芽依(中2)

山縣記念財団理事長賞

一般財団法人山縣記念財団 理事長 郷古 達也

海は様々な表情を持っていますが、この絵でも海の色や波がさまざまな色で描かれていて、そこにセンスを感じました。大漁の喜びも伝わってくるようです。



「今日は魚が大漁だ!」
関 諒真(小5)

グリーンクロスジャパン理事長賞

一般財団法人グリーンクロスジャパン 理事長 岩崎 照皇

タイトルと絵の両方に惹かれました。沖縄だけでなく日本中、世界中の青い海を守っていくには環境問題の解決にも繋がっていくのだと思います。



「日本がほころ、沖縄の青い海」
池上 文乃(小5)

Asia Peace Charity Foundation 理事長賞

一般財団法人 Asia Peace Charity Foundation Lei Wai Kit, Jackey

「おしゃれなお魚さんたち」というタイトルがぴったりの作品です。カラフルで個性的なデザインのお魚たちが楽しそうに泳いでいます。ずっと見ていると新しい発見が色々あって、飽きることがありません。



「おしゃれなお魚さんたち」
池原 朱美玲(小2)

安倍昭恵賞

仲の良い親子の貝拾いがとても楽しそうです。また、波が光にゆらゆら揺れているところがとても美しく描かれています。



「貝は拾い親子の愛は捨てず」
越智 日和(中2)

さかなクン賞

タコちゃんは、とっても知能が高い生き物です。琴美さんの描かれたタコちゃんのお目はまさに、色んなことを考えているようでギョーザいませ。お目々やカラフルな吸盤は、ふわふわな紙を貼られていて、立体感や質感、躍動感がすご〜く伝わってきます。タイトルの通り、ダンスをしてウキウキ!な楽しさが伝わってきて、とっても元気をいただけます!!さかなクンのお部屋に飾りたい!

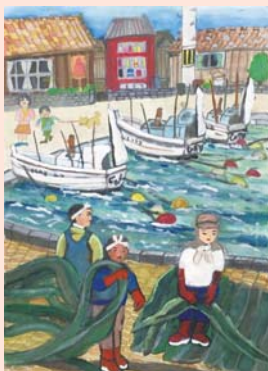
「タコのダンス」
武井 琴美(小1)



河井リツ子賞

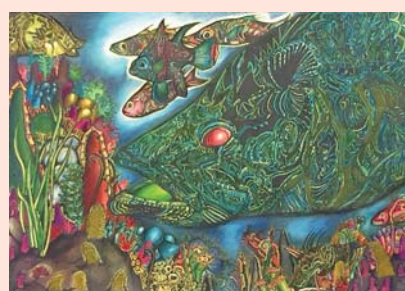
浜に並んだ船がとってもかわいいです。赤い自販機やオレンジの屋根瓦と電柱。昔からの、のどかな漁港の雰囲気がとてもホッとさせます。なにより一番手前で仕事する漁師さんたちがとっても素敵だと思いました。

「こんぼぼ〜」
早川 潤(小6)



榎木孝明賞

幻想的で個性的な世界観がひと目で気になりました。独特の個性を今後も生かした作品創りを期待します。



「アカメ」
内平 悠喜(中2)

グローバー賞

この絵は甲羅がいろいろな形と大きさ、カラフルな色合いで描かれているところが素敵です。水しぶきや日の光など色んなきらめきも描かれていて、楽しい気分させてもらえるダイナミックな絵だと思っています。



「かめさんのたのしいおさんぽ」
安西 笑菜(年少)